

「一般外来での JTAS を用いた院内トリアージの検証  
～当院独自の基準シートの作成に向けて～」に関する研究

## 1. 研究対象

2022年10月～2022年12月の土、日曜日を除く診療時間内に当院外来を受診し、トリアージを受けた成人患者さんのうち、緊急入院と転医搬送になった方。

## 2. 研究目的・方法

院内トリアージとは、「緊急度・重症度を医師、看護師が状態を評価し診察、治療の優先順位をつけること」です。

当院では診療予約のない患者さんと救急搬送された患者さんに対し、緊急度・重症度の優先順位をつけることで、適切に検査・診療を行えるよう、また待合での重症化を防ぐために院内トリアージを行っています。現在救急医療機関の救急外来を想定して開発された JTAS（緊急度に基づいたカテゴリーに患者さんを割り振るもの）という評価ツールでトリアージを実施していますが、一般外来受診患者さんに対する使用に合致しているかを検証する必要があると考えました。

過去にトリアージ判定をしたデータより傾向を抽出し、当院独自の基準シートを作成します。当院独自の基準シートを活用することで、実際の患者さんの状態に差異なくトリアージ判定ができることを目的とし、研究に取り組むこととなりました。

## 3. 研究に用いる情報の種類

年齢、病名、バイタルサイン、トリアージ内容・判定、病歴（前治療や治療期間）、転帰（外来・入院）

## 4. お問い合わせ先

本研究は当院倫理委員会の承認を得て行っています。本研究に関するご質問がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、ほかの研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書や関連資料を閲覧することができますので御申しつけください。

また情報が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承頂けない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお問い合わせください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

研究責任者：笠岡第一病院 外来 小見山 ひと実 矢吹 沙織 秋田 三永子  
笠岡市横島 1945 0865-67-0211

## 5. 利益相反

本研究は結果に影響を及ぼしかねない資金の受け入れや使用はありません。